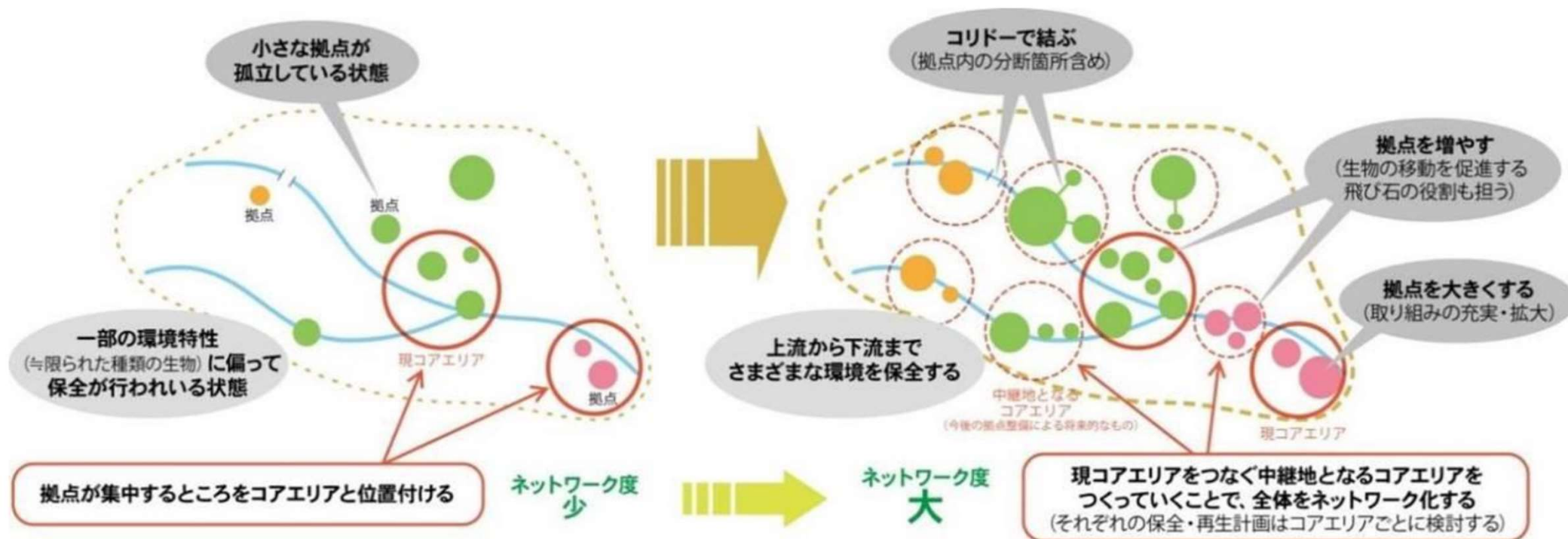


【生態系ネットワーク(エコロジカル・ネットワーク)】

生物多様性が保たれた国土を実現するために、保全すべき自然環境や優れた自然環境を有している地域を核として、これらを有機的につなぐ取り組み

- 形成の目的
- ①生態系・生物多様性の保全・再生(自然環境)
 - ②地域振興・経済活性化(社会経済)



生態系ネットワーク構築のイメージ

出典:「遠賀川流域における生態系ネットワーク形成の促進に向けて(案)」(平成29年8月遠賀川流域生態系ネットワーク検討委員会)

◆生態系ネットワークの形成により、生物多様性の確保を図り、人と自然との触れ合いの場を提供することで、地域に社会面・経済面において様々な効果をもたらすことが期待される

「第3回越後平野における生態系ネットワーク推進協議会」を開催

～川を基軸として流域に展開する新たな地域活性化の推進～

越後平野において、トキ・ハクチョウをシンボルとして、その安定的な生息に向けた地域間の情報交換や様々な活動を通じて、生態系ネットワークの形成を推進するとともに、自然の価値や魅力を活かした地域の活性化を目指すことを目的として、令和元年7月に「越後平野における生態系ネットワーク推進協議会」を設立いたしました。

この度、次年度策定を予定している「全体構想」の原案について、有識者をはじめとする皆様らからご意見・情報提供を頂くため、第3回目の推進協議会を開催いたしました。



■第3回 越後平野における生態系ネットワーク推進協議会

(敬称略)

日時：令和4年2月14日（月）10：00～12：00

会場：Web会議

出席者：関島恒夫（新潟大学 教授）、河口洋一（徳島大学 准教授）、藤田美幸（新潟国際情報大学 准教授）、細山田得三（長岡技術科学大学 教授）瓢湖の白鳥を守る会、新潟県水鳥湖沼ネットワーク、一般社団法人長岡市緑地協会、新潟県野鳥愛護会、北陸建設振興会議 NPO研究委員会、新潟市、長岡市、新発田市、新潟県、環境省（関東環境事務所、北陸地方整備局、佐渡市（オブザーバ）

生態系ネットワーク：

生物多様性が保たれた国土を実現するために、保全すべき自然環境や優れた自然条件を有している地域を核として、これらを有機的につなぐ取組みのことであり、形成することにより、生物多様性の保全を図り、人と自然とのふれあいの場を提供することで、地域に社会面・経済面において様々な効果をもたらすことが期待できる。



取組を推進するための部会の設置が承認されたほか、全体構想（原案）が協議を経て承認された。

生息環境づくりについて

- 例えば生息ポテンシャルを一つの評価基準として、ポテンシャルを現状よりも低下させないといった目標値を定め、目標年次に向けて具体的に検証可能なものとした方が良い。

地域づくりについて

- 小規模でも良いので実証実験のような形でモデルプロジェクトを実施できると良い。
- 併せて、わかりやすいHPがあると良い。

その他

- 全体構想の策定にあたっては、市民・県民からのご意見を取り入れていくことが大事。